

更に虫垂炎を重症度によりカタル性、蜂窩織炎性、壞疽性、穿孔性の4型に分けてみると、小児では各々22例(25.9%)、28例(32.9%)、6例(7.1%)、29例(34.1%)である一方、成人では65例(45.8%)、46例(32.4%)、5例(3.5%)、26例(18.3%)となっており、小児における穿孔例は明らかに高率であった。また、この小児穿孔例を先の年齢別にみると、各々60.9%、40.9%、19.2%、7.1%と年少なほど高い頻度であった。

小児の腹痛例、急性腹症例を診るにあたっては、以上のような諸点を念頭におき、急性虫垂炎の早期発見につとめ、その穿孔を未然に防止することが必要と考える。

37. 出生前に診断しえた致死性四肢短縮型小人症の1例

(第2病院 産婦人科)

○村上 光恵・貞永 明美・稲生由紀子・萩原 泰子・宇都宮 道・黄 長華・井口登美子・高橋 文子

致死性四肢短縮型小人症は特異な臨床所見を示し、死産あるいは生後間もなく死亡する一群の疾患であり、現在までに8つの独立疾患が明らかにされている。しかしその出生前診断は極めて困難である。私達は最近出生前に本症と診断し得た1症例を経験したので報告する。

症例は27歳の1回経産婦。家族歴に特記すべきことなく、24歳で健康男子と結婚、血族結婚ではない。

妊娠歴：昭和55年6月18日、妊娠42週0日、3,060g、男児、全足位で娩出・致死性四肢短縮症にて間もなく死亡。分娩まで診断はつかなく。現症：最終月経昭和55年9月3日～6日間、悪阻症状はなく、妊娠中薬物投与も受けていない。妊娠30週頃より羊水過多を呈し、妊娠32週0日、胎位不明瞭のため胎児X線撮影施行し、胎児の四肢、肋骨、頭蓋の骨陰影は認めがたく、椎骨が点状に認められ胎児奇形を考え入院。超音波検査で羊水過多症、BPD 10.1cmと大きい頭蓋、四肢短縮像が認められた。更に羊水穿刺、胎児造影を行い上記同様な所見と、男児、骨盤位を認めた。腹部単純X線写真、超音波検査、羊水胎児造影より高度の骨形成不全を主体とする奇形児と診断した。胎児胎盤機能検査は正常であった。昭和56年5月31日、妊娠38週4日、自然陣痛発来し全足位で娩出。3,600g、男児 apgarscore 1分後2点、2分後に死亡。羊水量3,500ml、胎盤重量750g、

新生児所見：頭部は大きく頭蓋は膜様で骨の抵抗をふれず、四肢短縮、短躯、腹部膨満。胸部の発育悪く、全

身に浮腫が認められた。剖検所見は全身的な骨系統の発育不全と著しい四肢短縮であった。

致死性四肢短縮型小人症の発症は不明で、その治療法もない。そこで臨床所見、検査所見・剖検所見に基づき、診断、原因、および病態生理に関し検討を加えた。

38. 塗抹標本による脳腫瘍の診断

(脳神経センター・脳神経外科)

○久保 長生・氷室 博・田鹿 安彦・神谷 増三・喜多村孝一

(脳神経センター病理室)

荒 徹昭・藤牧 久芳

脳神経外科医にとって手術時摘出標本の術中迅速診断はその治療方針を決めるのに重要な役割をめている。本学脳神経センター開設以来、大部分の脳腫瘍に対してザルトリウス型凍結切片用マイクロームを用いて凍結標本を作り迅速診断を行ない、高い診断率を得ている。しかし、最近塗抹標本による脳腫瘍の組織学的検索を行なっている。そしてHE、染色ばかりでなく、PTAH染色を行なうことにより、さらに診断が容易となつたことと、その組織学的所見について述べる。

方法：手術時得られた組織の小片をスライドグラス上にのせて、他のスライドグラスをかぶせて圧迫して静かに横にすべらせてできるだけうすい塗抹標本を作る。これをエーテルアルコール固定を行ない、型の如く、HE、PTAH染色を行ない鏡検する。

結果：正常グリア組織はうすい標本を作りやすく。白質と灰白色は神経細胞の有無で区別できる。グリア細胞は一層の内皮細胞を有する血管の間に散在してみとめられ、細胞の異型性をみとめない。PTAH染色にて青色するグリア線維と赤染する血管を明瞭に区別することができる。脳腫瘍とくに glioma では細胞成分の増加、pleomorphismが目立ち、太く、多層の内皮細胞を有する血管が多くみられ、これらの分枝に腫瘍細胞が付着している像をみとめる。PTAH染色にて、グリア線維が明瞭となり、良性の glioma ではこの線維が細く、直線状であるが、悪性の glioma ではこの線維が太く、不規則で屈曲している傾向にある。また悪性の glioma では細胞の pleomorphismが高くなる。このように塗抹標本では細胞診の如く、細胞の性格をよく知ることができる。転移性脳腫瘍や髄膜腫などの間質に線維組織の多い腫瘍は、よい標本を得ることができず、ときに診断に苦慮するが、凍結標本と合わせれば充分診断可能となる。